



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 中村 嘉宏 (TEL) 06-6267-7095
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,545	5.9	1,424	82.9	1,362	—	1,300	—
29年3月期第2四半期	18,451	△12.2	778	451.8	△903	—	△1,586	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,536百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △4,327百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	88.00	—
29年3月期第2四半期	△107.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	53,044	19,974	37.6
29年3月期	53,214	18,659	35.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 19,967百万円 29年3月期 18,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00			
30年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.0	2,600	4.0	2,400	183.6	1,400	562.7	94.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,776,321株	29年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	93株	29年3月期	93株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,776,228株	29年3月期2Q	14,776,228株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年11月21日(火)に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催します。決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。海外においては、米国経済は大型ハリケーンの影響により鉱工業生産は落ち込んだものの、その影響は限定的であったことから、着実に回復が続いております。欧州経済も、フランス・ドイツにおける選挙の結果を受け、政治リスクが後退したことから緩やかな回復が続いております。しかしながら、欧米における保護主義的な動きに対する懸念は依然として残っており、中東・朝鮮半島の地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造および販売に注力して参りました。その結果、国内では郊外型商業施設への納入が堅調に推移したこと、海外においては欧米事業の売上が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間における売上高は、195億45百万円（前年同四半期比5.9%の増収）となりました。

製品開発プロセスの改善、科学的管理手法による品質の改善および原価低減に努めた結果、営業利益は14億24百万円（前年同四半期比82.9%の増益）となりました。この結果を受け、経常利益は13億62百万円（前年同四半期は9億3百万円の経常損失）となりました。

特別利益において、連結子会社のEndo Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd,の第1工場の売却益を3億51百万円計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億円（前年同四半期は15億86百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、日本全国各都市のショールームを活用し積極的な販売活動を展開することで、業務用LED照明分野における高いブランドイメージの確立に努めました。高機能な新製品に対する顧客の評価は高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売だけでなく、既存照明器具の取り換え需要に対しても積極的に販売活動を推進しました。昨年発刊した商業施設向けカタログ「LEDZ Pro. 2016-2017」は当第2四半期連結会計期間においても売上に貢献しておりますが、9月には新カタログの「LEDZ Pro. Vol. 2」を発刊し、その発刊に合わせて新製品展示会を開催し、拡販に努めております。

LED照明器具の本格的な普及が進む海外市場においては、欧米市場を中心に売上は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は173億66百万円（前年同四半期比2.9%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）になり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は、18億9百万円（前年同四半期比57.9%の増益）となりました。

② 環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器の消費電力削減効果が、食品スーパーを始め流通店舗で高い評価を得て、レンタル契約実績、機器販売高は順調に推移しました。

この結果、売上高は41億32百万円（前年同四半期比12.2%の増収）となり、セグメント利益は2億91百万円（前年同四半期比32.7%の増益）となりました。

③ インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、更なるコストダウン、徹底的な物流合理化を推進することで採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は5億49百万円(前年同四半期比20.6%の増収)となり、セグメント損失は41百万円(前年同四半期は39百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、530億44百万円(前連結会計年度末比1億69百万円の減少)となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加4億52百万円、たな卸資産の増加3億16百万円および受取手形及び売掛金の減少9億56百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、330億70百万円(前連結会計年度末比14億84百万円の減少)となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加4億13百万円および有利子負債の減少18億40百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、199億74百万円(前連結会計年度末比13億14百万円の増加)となりました。

主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上13億円、繰延ヘッジ損益の増加1億59百万円および配当金の支払いによる減少2億21百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、85億56百万円(前年同四半期比27億50百万円の増加)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、34億35百万円(前年同四半期は7億47百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として税金等調整前四半期純利益16億67百万円、減価償却費16億円および売上債権の減少による増加9億86百万円、減少要因としてたな卸資産の増加による減少2億69百万円および法人税等の支払額3億67百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、4億32百万円(前年同四半期は17億90百万円の減少)となりました。

主な要因は、固定資産売却による収入3億88百万円、定期預金の払戻による収入6億円および有形固定資産の取得による支出12億47百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、21億11百万円(前年同四半期は6億42百万円の減少)となりました。

主な要因は、長期借入れによる収入10億円、長期借入金の返済による支出29億61百万円および配当金の支払額2億22百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,273	8,725
受取手形及び売掛金	7,842	6,886
商品及び製品	7,332	7,642
仕掛品	418	367
原材料及び貯蔵品	1,756	1,813
繰延税金資産	303	307
デリバティブ債権	279	221
その他	1,231	1,499
貸倒引当金	△106	△134
流動資産合計	27,330	27,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,780	9,546
減価償却累計額	△3,452	△3,359
建物及び構築物(純額)	6,327	6,187
機械装置及び運搬具	3,105	2,913
減価償却累計額	△2,197	△2,064
機械装置及び運搬具(純額)	907	849
レンタル資産	11,699	12,456
減価償却累計額	△4,482	△5,279
レンタル資産(純額)	7,217	7,177
土地	3,800	3,771
リース資産	923	978
減価償却累計額	△692	△715
リース資産(純額)	231	263
建設仮勘定	381	442
その他	3,209	3,107
減価償却累計額	△2,621	△2,548
その他(純額)	587	559
有形固定資産合計	19,453	19,251
無形固定資産		
ソフトウェア	317	281
のれん	3,159	3,124
その他	121	128
無形固定資産合計	3,598	3,535
投資その他の資産		
投資有価証券	237	263
繰延税金資産	589	671
関係会社株式	22	22
その他	2,084	2,072
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	2,831	2,927
固定資産合計	25,883	25,713
資産合計	53,214	53,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,111	3,525
短期借入金	3,269	3,411
1年内償還予定の社債	140	140
1年内返済予定の長期借入金	5,883	6,417
リース債務	148	155
未払法人税等	358	442
賞与引当金	481	530
役員賞与引当金	—	15
製品保証引当金	1,063	1,002
デリバティブ債務	67	0
繰延税金負債	32	30
その他	1,869	1,686
流動負債合計	16,426	17,358
固定負債		
社債	350	280
長期借入金	15,738	13,242
リース債務	148	190
繰延税金負債	667	748
役員退職慰労引当金	429	437
修繕引当金	6	3
退職給付に係る負債	215	193
その他	572	616
固定負債合計	18,128	15,711
負債合計	34,554	33,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	7,585	8,664
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,280	19,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	73
繰延ヘッジ損益	13	173
為替換算調整勘定	287	355
退職給付に係る調整累計額	15	5
その他の包括利益累計額合計	373	608
非支配株主持分	5	6
純資産合計	18,659	19,974
負債純資産合計	53,214	53,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,451	19,545
売上原価	12,035	12,064
売上総利益	6,416	7,481
販売費及び一般管理費	5,637	6,056
営業利益	778	1,424
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	29
受取賃貸料	32	48
為替差益	—	91
その他	45	18
営業外収益合計	120	187
営業外費用		
支払利息	127	106
売上割引	97	95
為替差損	1,515	—
その他	63	47
営業外費用合計	1,803	250
経常利益又は経常損失(△)	△903	1,362
特別利益		
固定資産売却益	—	351
特別利益合計	—	351
特別損失		
固定資産除売却損	18	8
デリバティブ評価損	476	37
特別損失合計	494	46
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,398	1,667
法人税、住民税及び事業税	317	443
法人税等調整額	△127	△76
法人税等合計	189	366
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,588	1,301
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,586	1,300

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,588	1,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	16
繰延ヘッジ損益	△35	159
為替換算調整勘定	△2,670	68
退職給付に係る調整額	△15	△9
その他の包括利益合計	△2,739	234
四半期包括利益	△4,327	1,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,325	1,535
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,398	1,667
減価償却費	1,480	1,600
のれん償却額	96	88
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	47
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△328	△61
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32	△39
受取利息及び受取配当金	△42	△29
支払利息	127	106
固定資産除売却損益(△は益)	18	△342
デリバティブ評価損益(△は益)	476	37
売上債権の増減額(△は増加)	453	986
たな卸資産の増減額(△は増加)	410	△269
仕入債務の増減額(△は減少)	△923	405
未払金の増減額(△は減少)	40	△221
その他	738	△122
小計	1,148	3,886
利息及び配当金の受取額	42	29
利息の支払額	△115	△112
和解金の支払額	△86	—
法人税等の支払額	△343	△367
法人税等の還付額	102	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	747	3,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,260	△1,247
有形固定資産の売却による収入	—	388
投資有価証券の償還による収入	109	—
無形固定資産の取得による支出	△27	△43
定期預金の預入による支出	△600	△164
定期預金の払戻による収入	—	600
その他	△12	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,790	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△74	143
長期借入れによる収入	2,600	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,767	△2,961
社債の償還による支出	△70	△70
セール・アンド・リースバックによる収入	—	71
リース債務の返済による支出	△107	△72
配当金の支払額	△221	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△642	△2,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△824	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,509	883
現金及び現金同等物の期首残高	8,316	7,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,806	8,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,402	3,594	455	18,451	18,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,466	89	—	2,556	2,556
計	16,868	3,683	455	21,008	21,008
セグメント利益又は損失(△)	1,146	219	△39	1,326	1,326

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,326
セグメント間取引消去	31
未実現利益の調整額	△164
全社費用(注)	△414
四半期連結損益計算書の営業利益	778

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,929	4,067	549	19,545	19,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,436	65	—	2,501	2,501
計	17,366	4,132	549	22,047	22,047
セグメント利益又は損失(△)	1,809	291	△41	2,060	2,060

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,060
セグメント間取引消去	38
未実現利益の調整額	△82
全社費用(注)	△590
四半期連結損益計算書の営業利益	1,424

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。